



平成23年 岐阜県鉱工業指数(年報)

【平成17年基準】

1 概況

生産指数	93.2	前年比2.5%の上昇
出荷指数	93.1	前年比0.3%の上昇
在庫指数	112.9	前年比1.0%の上昇

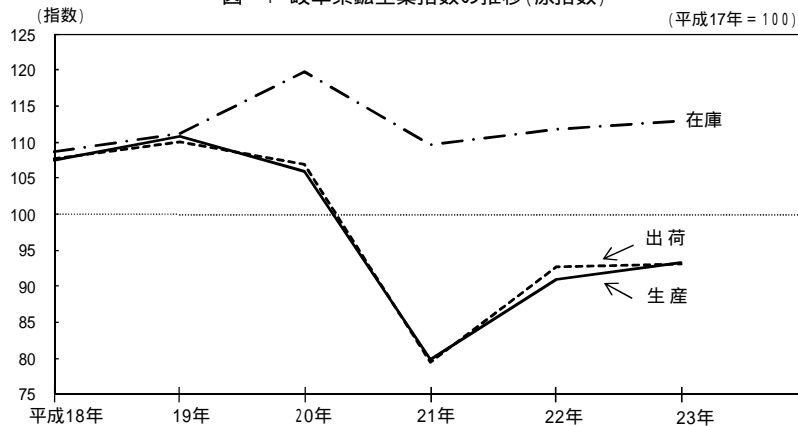
平成23年1年間の生産指数は、情報通信機械工業、輸送機械工業等が低下したものの、一般機械工業、電気機械工業等が上昇したため、前年比2.5%の上昇となった。

また、出荷指数は、一般機械工業、電気機械工業等が上昇したため0.3%の上昇となり、在庫指数は、金属製品工業、窯業・土石製品工業等が上昇したため1.0%の上昇となった。(図-1)

(平成17年=100)

区分	生産		出荷		在庫	
	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)	指数	前年比(%)
平成18年	107.5	7.5	107.7	7.7	108.7	4.7
19	110.8	3.1	110.0	2.1	111.3	2.4
20	106.0	4.3	107.0	2.7	119.9	7.7
21	79.8	24.7	79.5	25.7	109.7	8.5
22	90.9	13.9	92.8	16.7	111.8	1.9
23	93.2	2.5	93.1	0.3	112.9	1.0

図-1 岐阜県鉱工業指数の推移(原指数)



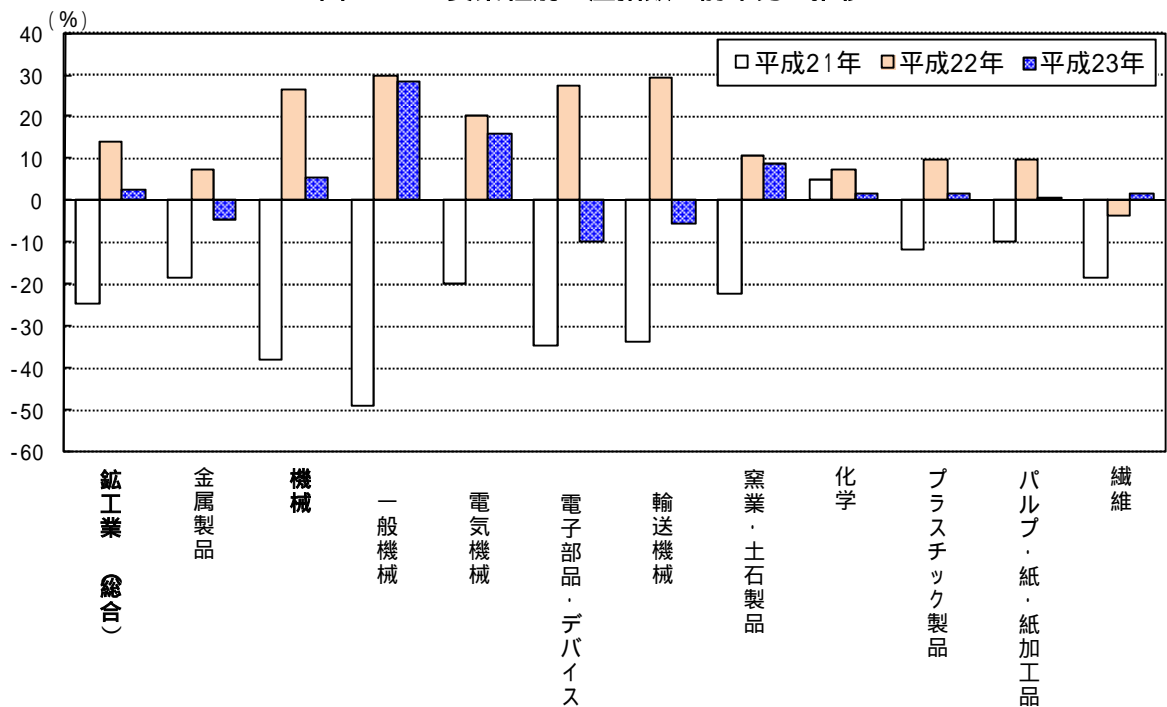
注：年指数の値は、生産及び出荷指数は月指数の平均値、在庫指数は年末値による。

2 主要業種別生産指数の前年比

主要10業種の生産指数を業種別に前年と比べると、上昇したのは、一般機械工業(前年比28.4%)、電気機械工業(同15.8%)、窯業・土石製品工業(同8.5%)、プラスチック製品工業(同1.6%)、化学工業(同1.6%)、繊維工業(同1.4%)、パルプ・紙・紙加工品工業(同0.7%)の7業種となった。

一方、低下したのは、電子部品・デバイス工業(同-9.7%)、輸送機械工業(同-5.6%)、金属製品工業(同-4.7%)の3業種となった。(図-2、表-1)

図-2 主要業種別生産指数の前年比の推移



3 全国、中部との生産指数の比較

平成23年の全国における生産指数は、前年比2.3%の低下であった。また、中部においては5.0%の低下であった。

(平成17年=100)

区分	岐阜県		全国		中部	
	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)	生産指数	前年比 (%)
平成18年	107.5	7.5	104.5	4.5	107.7	7.7
19	110.8	3.1	107.4	2.8	111.0	3.1
20	106.0	4.3	103.8	3.4	105.5	5.0
21	79.8	24.7	81.1	21.9	78.7	25.4
22	90.9	13.9	94.4	16.4	96.0	22.0
23	93.2	2.5	92.2	2.3	91.2	5.0

「中部」とは、中部経済産業局管内5県(愛知、三重、石川、富山、岐阜)

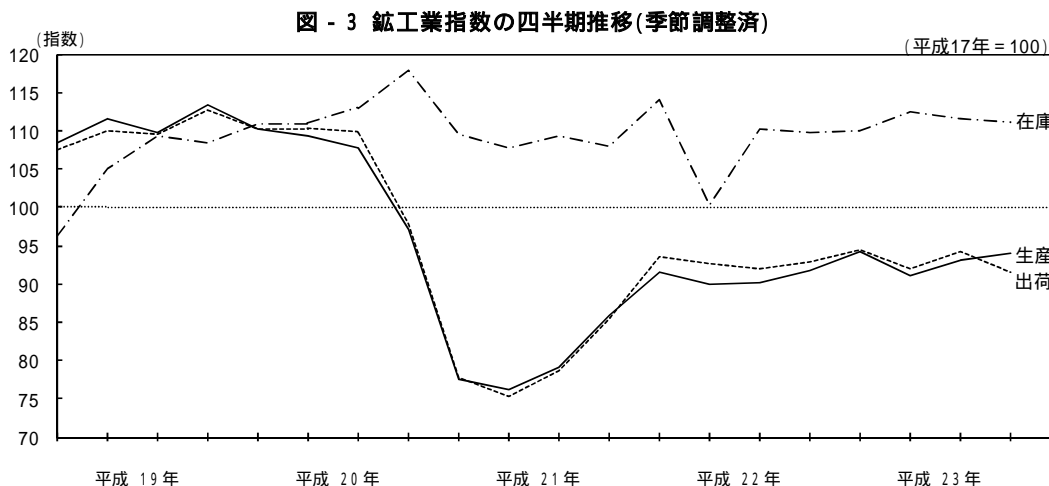
資料：経済産業省、中部経済産業局

<平成23年 岐阜県鉱工業指数の詳細について>

1 鉱工業指数の四半期推移

平成23年の生産指数を四半期ごとにみると、第1四半期は前期比2.7%の上昇、第2四半期は3.4%の低下、第3四半期は2.3%の上昇、第4四半期は0.9%の上昇となった。

また、出荷指数、在庫指数は横ばい傾向であった。 (図-3、表-2)

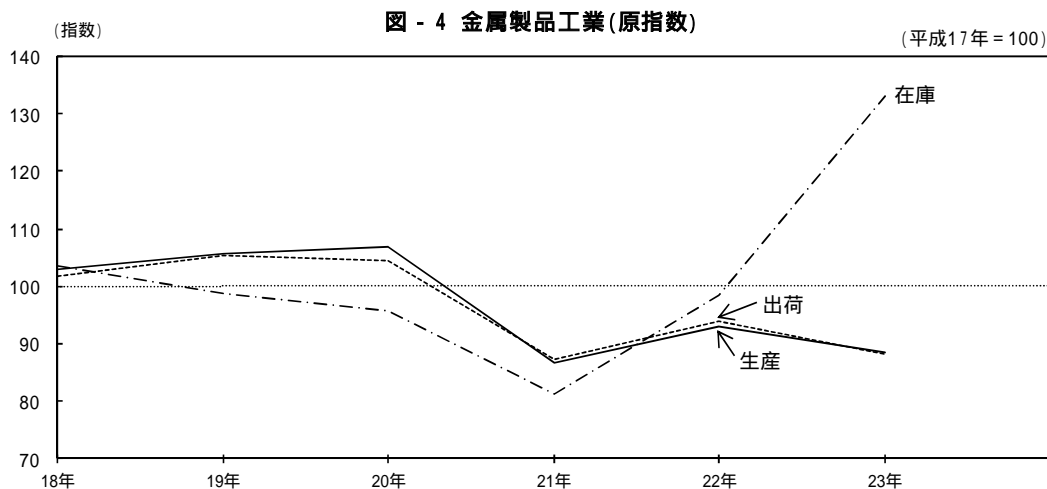


2 主要業種別指数の動向

(1) 金属製品工業

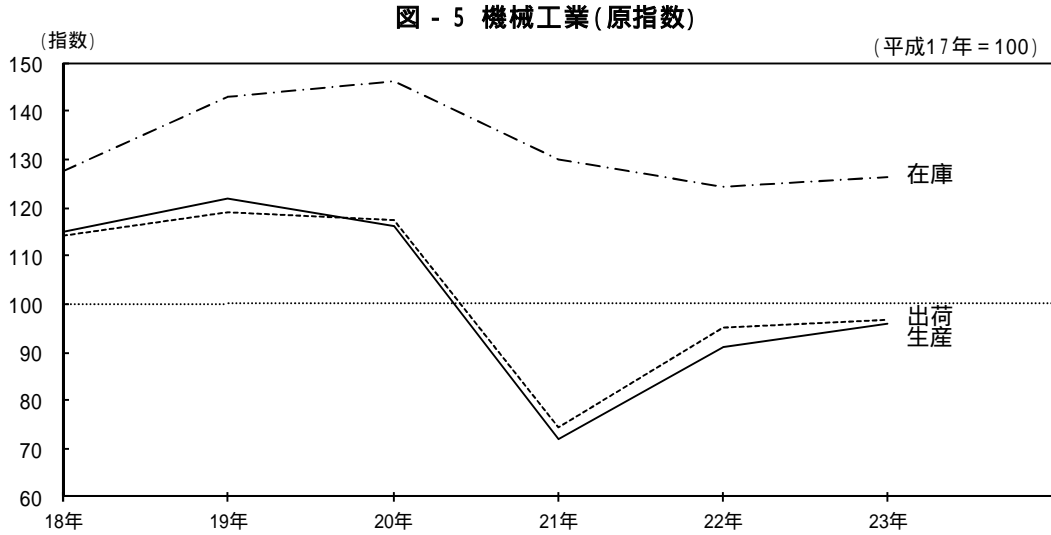
- ・生産指数は、超硬チップ、スチール又はステンレスシャッター等が増加したものの、アルミサッシ、ボルト・ナット等が減少したため、前年比4.7%の低下となった。
- ・出荷指数は、アルミサッシ、ボルト・ナット等が減少したため、前年比6.3%の低下となった。
- ・在庫指数は、超硬チップ、ボルト・ナット等が増加したため、前年比35.0%の上昇となった。

(図-4、表-1)



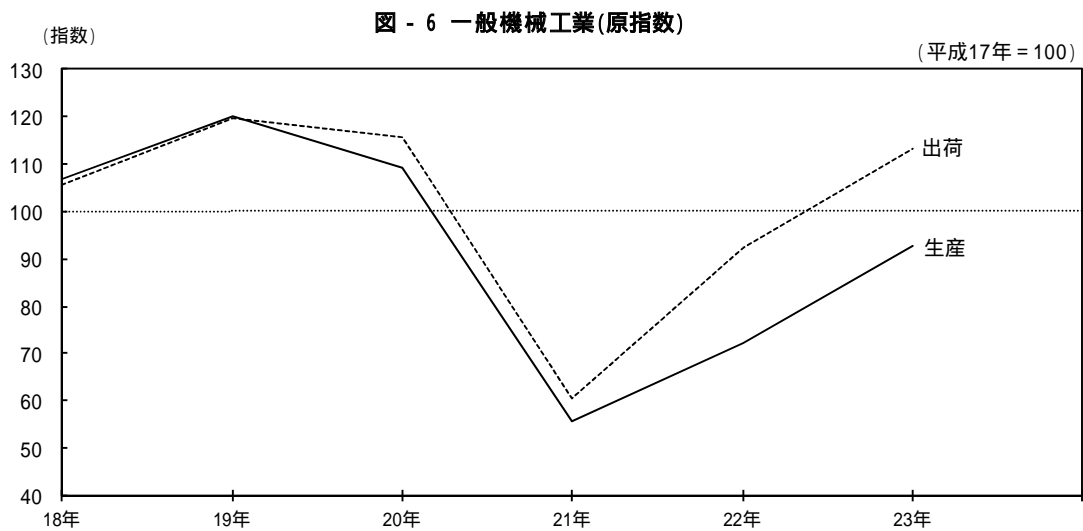
(2) 機械工業

- ・生産指数は、情報通信機械工業、輸送機械工業等が低下したものの、一般機械工業、電気機械工業等が上昇したため、前年比5.5%の上昇となった。
 - ・出荷指数は、一般機械工業、電気機械工業等が上昇したため、前年比1.5%の上昇となった。
 - ・在庫指数は、前年比1.5%の上昇となった。
- (図 - 5、表 - 1)



(2) - ア 一般機械工業

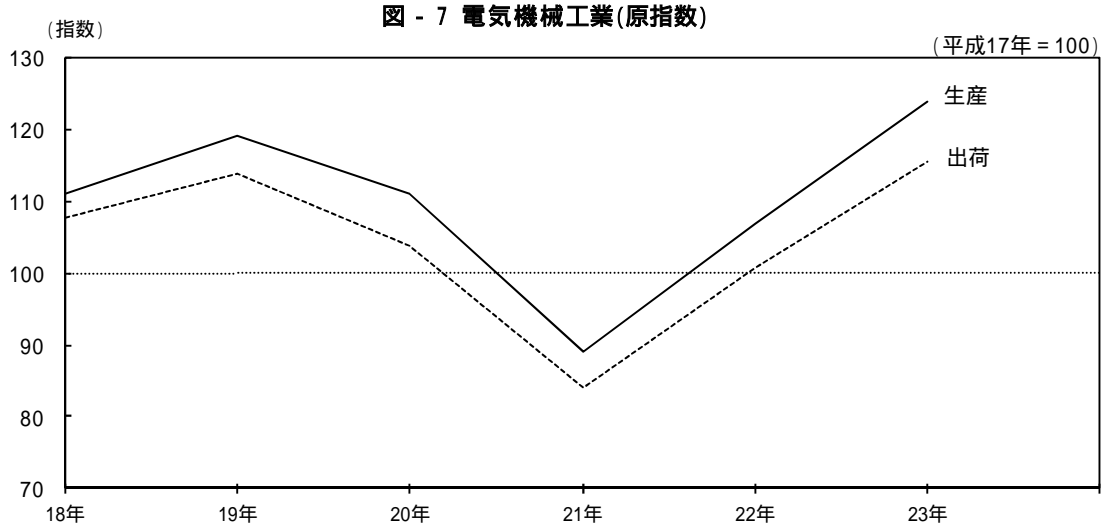
- ・生産指数は、自動改札機・自動入場機、印刷機械等が減少したものの、旋盤、油圧機器等が増加したため、前年比28.4%の上昇となった。
 - ・出荷指数は、旋盤、超硬工具(超硬チップを除く)等が増加したため、前年比22.8%の上昇となった。
- (図 - 6、表 - 1)



(2) - イ 電気機械工業

- ・生産指数は、非標準三相誘導電動機（70W以上）、蛍光灯器具が減少したものの、単相誘導電動機、換気扇等が増加したため、前年比15.8%の上昇となった。
- ・出荷指数は、単相誘導電動機、換気扇等が増加したため、前年比14.8%の上昇となった。

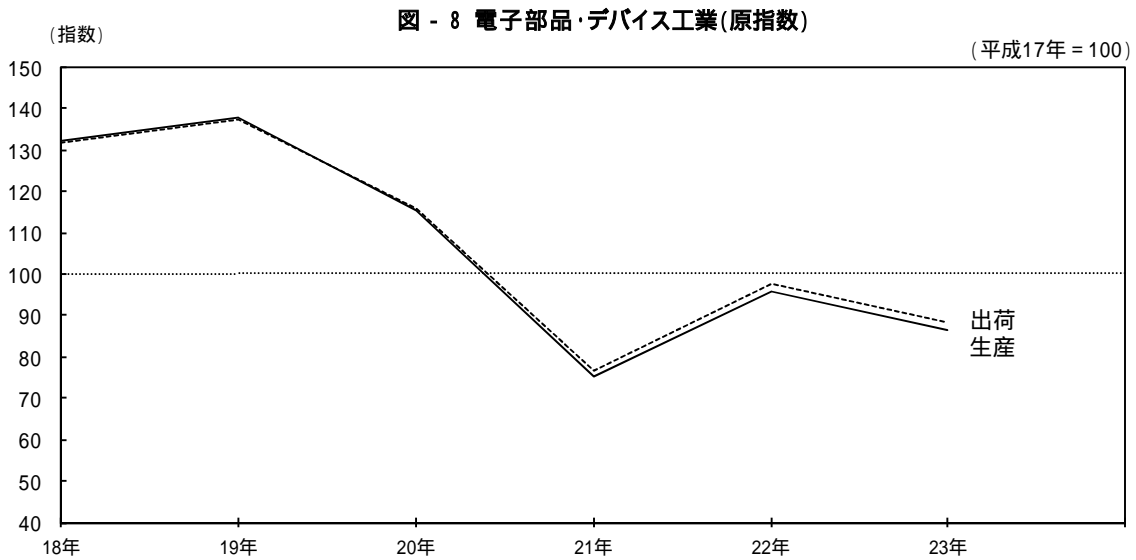
(図 - 7、表 - 1)



(2) - ウ 電子部品・デバイス工業

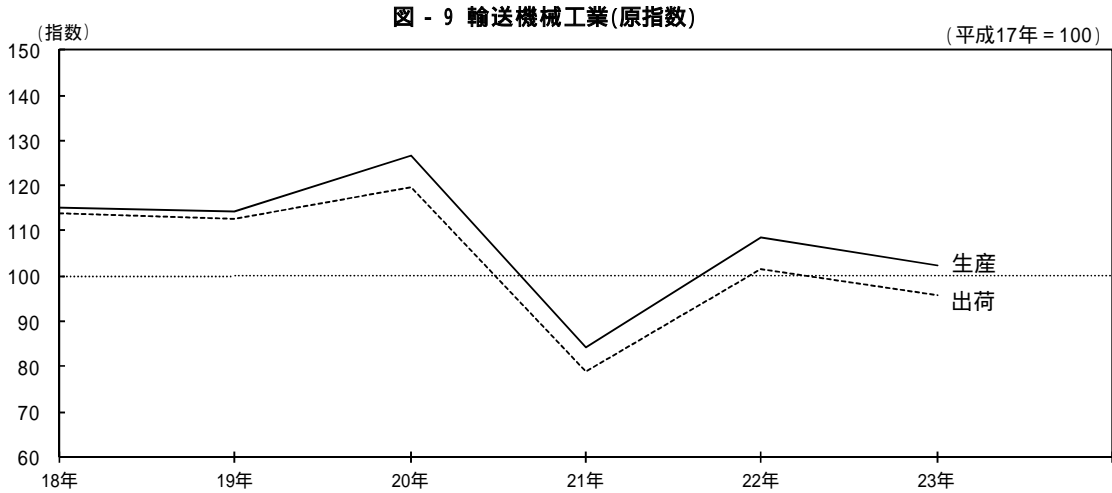
- ・生産指数は、電子回路基板、抵抗器が減少したため、前年比9.7%の低下となった。
- ・出荷指数は、電子回路基板、抵抗器が減少したため、前年比9.7%の低下となった。

(図 - 8、表 - 1)



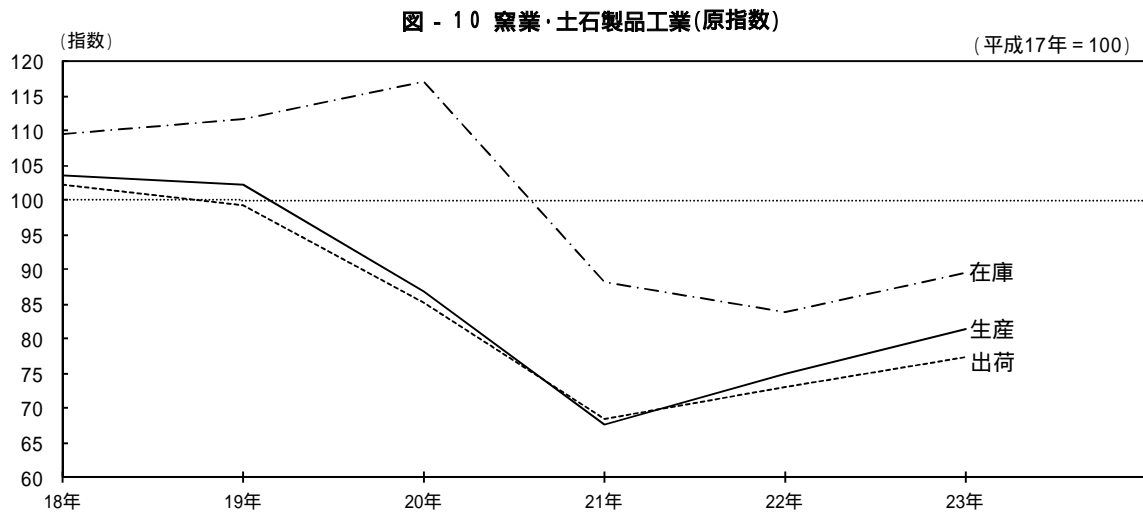
(2) - I 輸送機械工業

- ・生産指数は、シャシー及び車体部品、点火栓（プラグ）等が増加したものの、乗用車ボデー、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）等が減少したため、前年比5.6%の低下となった。
- ・出荷指数は、懸架制動装置部品（ショックアブソーバ）、乗用車ボデー等が減少したため、前年比5.5%の低下となった。（図 - 9、表 - 1）



(3) 窯業・土石製品工業

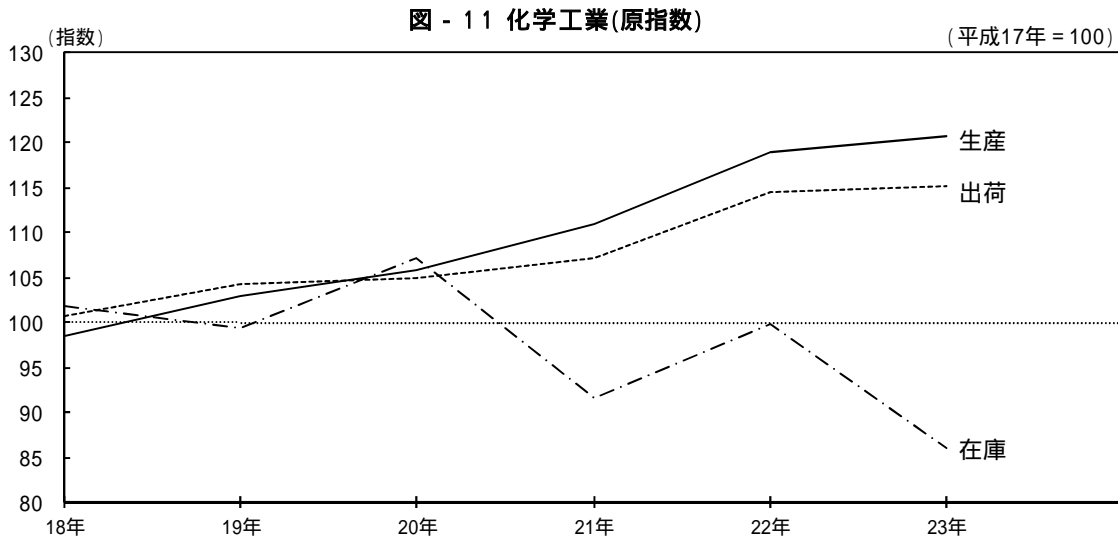
- ・生産指数は、石工品、生石灰等が減少したものの、触媒担体・セラミックフィルタ、タイル（陶磁器製タイル）等が増加したため、前年比8.5%の上昇となった。
- ・出荷指数は、触媒担体・セラミックフィルタ、生コンクリート等が増加したため、前年比6.2%の上昇となった。
- ・在庫指数は、タイル（陶磁器製タイル）、道路用コンクリート製品等が増加したため、前年比6.8%の上昇となった。（図 - 10、表 - 1）



(4) 化学工業

- ・生産指数は、触媒（自動車排気ガス浄化用）、無水酢酸が減少したものの、医薬品、メラミン樹脂等が増加したため、前年比1.6%の上昇となった。
- ・出荷指数は、医薬品、メラミン樹脂等が増加したため、前年比0.6%の上昇となった。
- ・在庫指数は、活性炭、無水酢酸等が減少したため、前年比13.7%の低下となった。

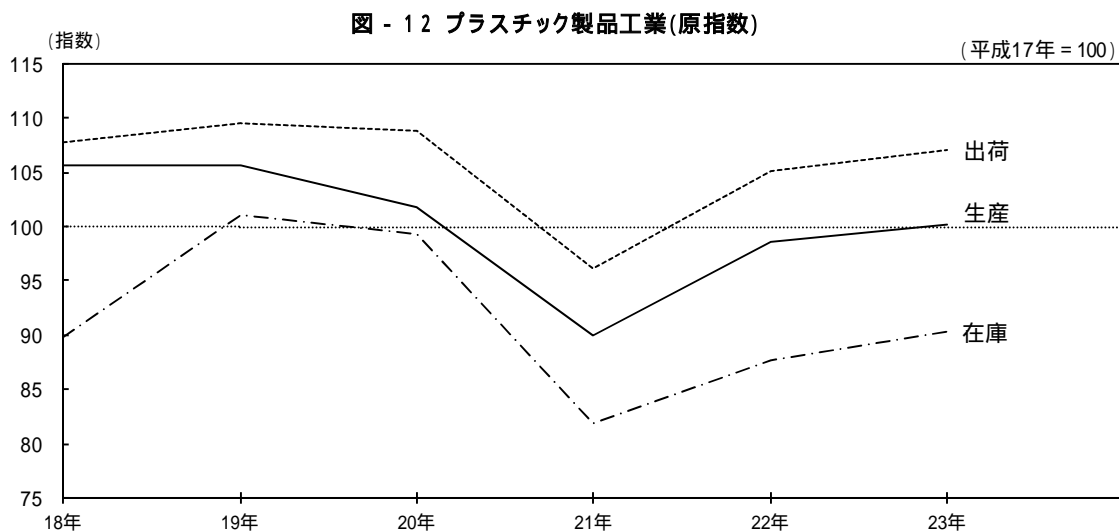
(図 - 11、表 - 1)



(5) プラスチック製品工業

- ・生産指数は、プラスチック製機械器具部品、プラスチック製フィルム等が減少したものの、プラスチック製容器、ホース（プラスチック製）等が増加したため、前年比1.6%の上昇となった。
- ・出荷指数は、プラスチック製容器、ホース（プラスチック製）等が増加したため、前年比1.9%の上昇となった。
- ・在庫指数は、プラスチック製フィルム、プラスチック製シート等が増加したため、前年比3.2%の上昇となった。

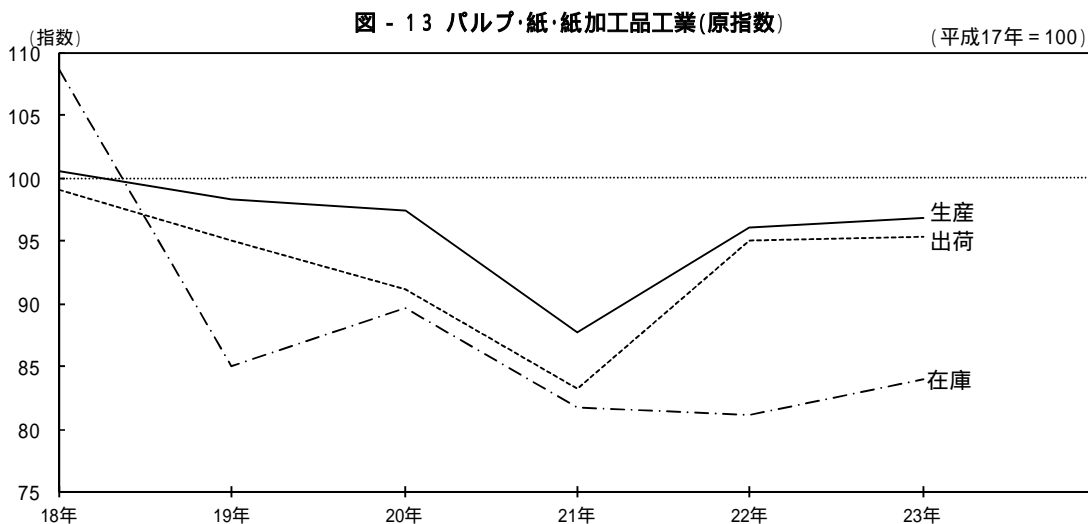
(図 - 12、表 - 1)



(6) パルプ・紙・紙加工品工業

- ・生産指数は、衛生用紙、雑種紙等が減少したものの、包装用紙、段ボール原紙等が増加したため、前年比0.7%の上昇となった。
- ・出荷指数は、包装用紙、段ボール原紙が増加したため、前年比0.3%の上昇となった。
- ・在庫指数は、包装用紙、段ボール原紙等が増加したため、前年比3.4%の上昇となった。

(図 - 13、表 - 1)



(7) 繊維工業

- ・生産指数は、不織布、羽毛・羽根ふとん等が減少したものの、ニット生地染色整理、織物製外衣等が増加したため、前年比1.4%の上昇となった。
- ・出荷指数は、毛織物、不織布等が減少したため、前年比9.5%の低下となった。
- ・在庫指数は、不織布、敷物タフテッドカーペット等が減少したため、前年比0.5%の低下となった。

(図 - 14、表 - 1)

